

J-CLIL学会
研究発表

2026.10.10

小学校での自主的に学ぶ CLIL活動の試み

～SDGsをTranslanguagingで考える～

森田 潤一（久留米市立京町小学校）
主計 由恵（久留米市立京町小学校）
寺崎 文乃（久留米市立京町小学校）
Jojie Agno（久留米市立京町小学校）
笹島 茂（CLIL-ite）



目次

- 1.これまでC L I Lで実施した学習について
- 2.研究の目的
- 3.研究の調査方法
- 4.研究の実際と結果
- 5.研究の成果



京町小学校では

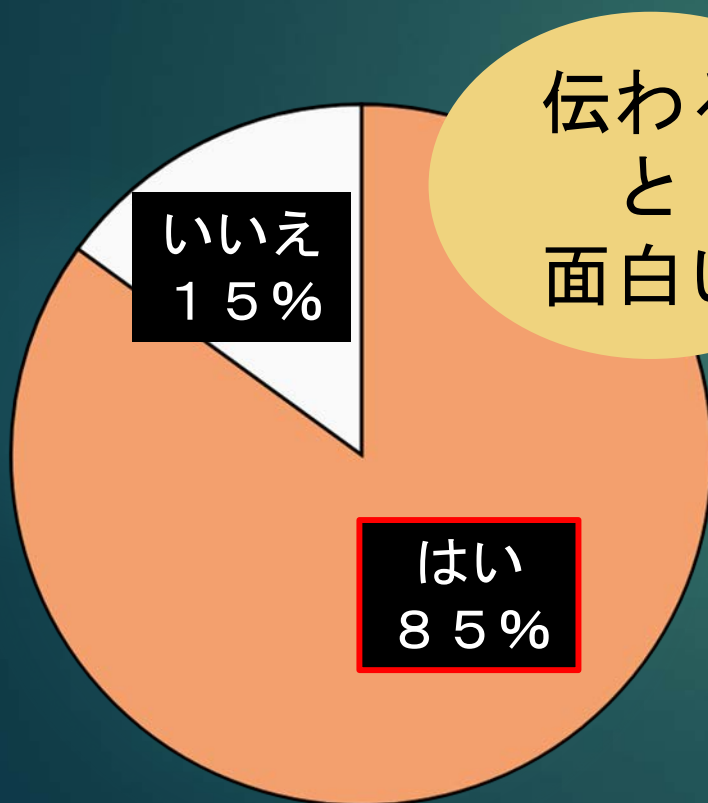
外国語教育

に力を入れていま
す！

- ・ 健康観察
- ・ 朝の会・帰りの会
- ・ 授業の号令
- ・ 教室の掲示物（時間割など）
- ・ 英語放送(朝・昼・給食・掃除)
- ・ CLIL学習

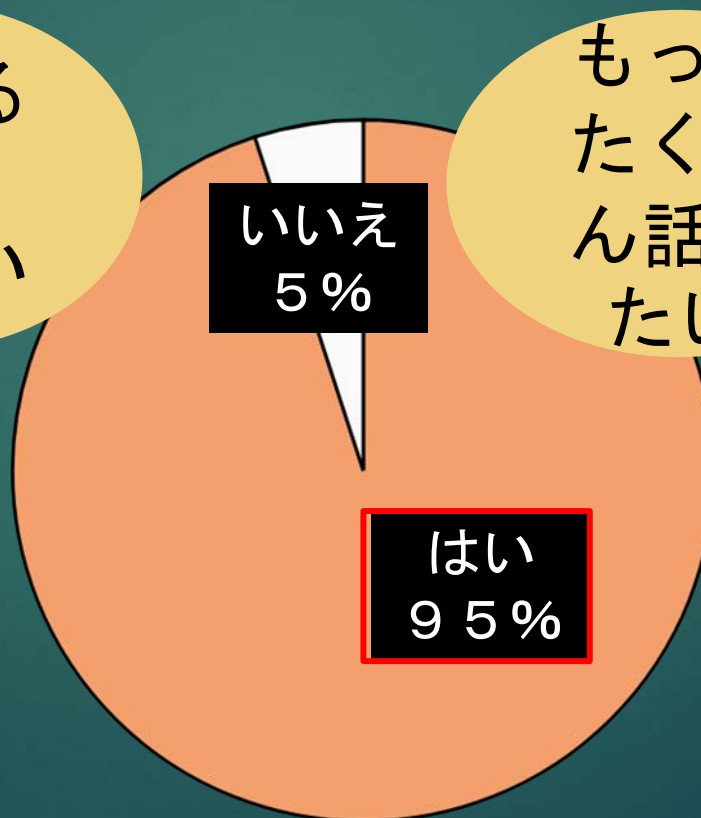


外国語活動は
好きですか？



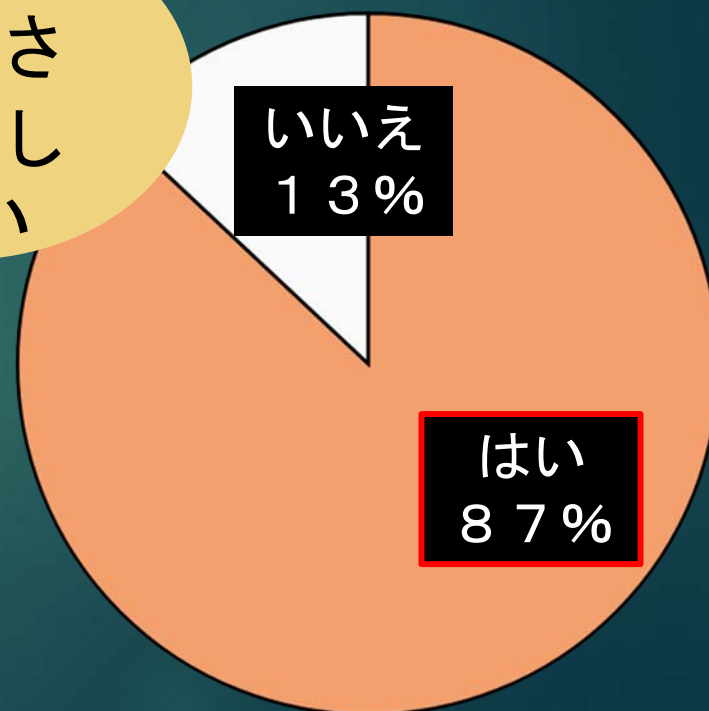
伝わる
と
面白い

外国語活動を
もっと勉強したいと
思いますか？



もっと
たくさ
ん話し
たい

外国語を使っての
コミュニケーション
は楽しいですか？



これまでの活動について

京町小学校ではこれまで7年間で色々な教科でCLIL学習に取り組んできました。

国語	算数	理科	社会	外国語
音楽	体育	ワールド タイム	生活科	総合的な学 習の時間

研究の目的 Research Objectives

trending_up

1. 小学校におけるコミュニケーション能力の向上



translate

2. Translanguagingを使った学習の進め方

母語・対象言語を統合的に活用し、
学びと対話を促進する実践的アプローチ

研究の調査方法

Research Methodology

総合的な学習の時間

「SDGsについて考えよう」

Data

- ・ 児童アンケート



研究の実際と結果

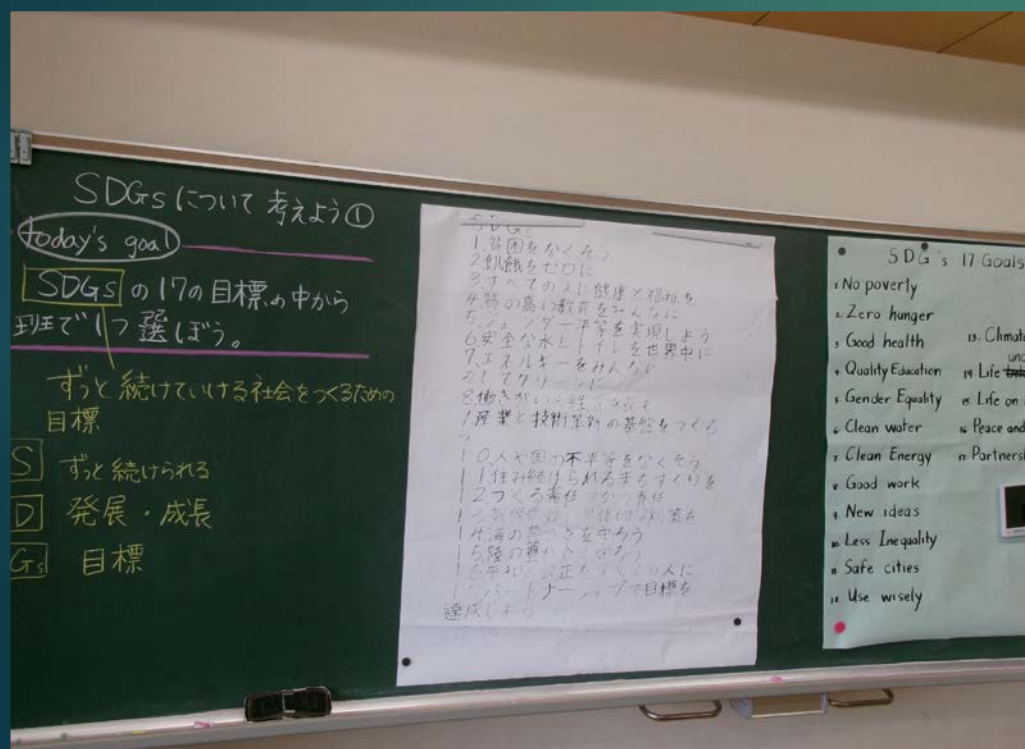
PROCESS/RESULTS

トランスランゲージング

Translanguagingとは、複数の言語や表現方法の境界を越えて、自分の持つ言語の力を自然に使いこなし、意味を理解したり伝え合ったりすることです。単なる「言葉の切り替え（コードスイッチング）」ではなく、頭の中にある言語の引き出しから、自由に言葉を選んで使う仕組みを指します。

SDGsについて考えよう 4月～10月

グループで目標を決めて学習を進める・・・15時間計画



具体的な活動計画（全15時間）

Step 1

SDGsの17の目標の中から1つ選ぶ→英語に変換する

Step 2

選んだ目標の中から、キーワードを探し、英語に変換し、発表する

Step 3

キーワードを選んだ理由を日本語で考える

Step 4

目標に向けて自分たちができることを考える

Step 5

キーワードを選んだ理由を英語に変換し、発表する

Step 6

一人一人が目標を決めてスライドを作成する

Step1～Step 2 の子どもたちの語彙の獲得

第1時と第2時で調べた17の目標についての英単語

Life under water

Less inequality

Zero hunger

Good health

Climate action

Peaces and justice
partnership



Extinction
Ecosystem
Global warming
Disparity
Hindrance
Rich
Born
Race
Donate
Keep
Hunger
Poor
Food
Nutritious
Support
Welfare
Life
Traffic accident

第3時と第4時で
子ども達が調べた
キーワード

Step 2 の活動の様子



Step 5 キーワードとその理由を英語で表現しよう①

Ecosystem

It's similar to extinction, but it's not.

Garbage

Because trash is flowing into the ocean.

Inequality

I want to eliminate inequality.

World

It's also important to think about the world.

Disparity

Because there is a lot of disparity in the world.

hunger

Because it's different from starvation.

Support

Because I need support.

Nutrition

Nutrition is necessary.

Sufficient

It's not nearly enough and I'm

キーワードを選んだ理由を英語に変換

WordからSentenceへ

Step 5 キーワードとその理由を英語で表現しよう②

Health

May everyone around the world be healthy.

Welfare

Because that world is included in the goal.

Disaster

Because many people are suffering from the disaster.

Typhoon

I want to warn people about the typhoon.

Intense heat

Because it's a serious sign of global warming.

変動適応策

I want measures to be taken to mitigate and prevent damage.

Let's end war.

Because there are people fighting wars all over the world.

Peace

Because I want everyone to live in peace.

キーワードを選んだ理由を英語に変換

WordからSentenceへ

成果と課題 Results

成果 (Achievements)

- **SDGs**について自主的に調べてノートにまとめようとする子どもが出てきた
- 普段発表が苦手な児童から英語が好きで積極的に発表するという姿勢が見られた
- 各グループともメンバーと協力して調べ積極的に発表する様子が見られた。
- 違う教科でも英語を使おうとする場面が見られる。（例：家庭科）
- 2学期には子ども達から**SDGs**係りを作りたいという声が出て学級に係りができ活動している。
(ISOチェックや**SDGs**新聞作りなど)

課題 (Challenges)

- 担任教師が英語が苦手な場合、子ども達が考えた文が合っているのかをすぐに判断することが難しい。
そのため、**ALT**に教わるまでにタイムラグが生じてしまう。

SDGs × 英語



小さな行動が大きな未来につながる

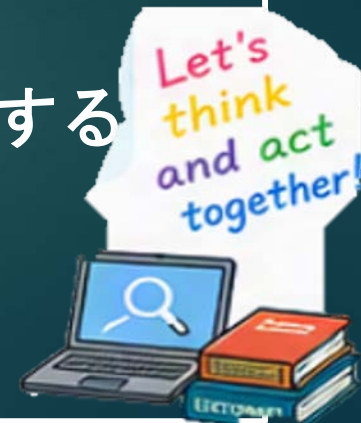
(1) 研究の目的・進め方

わたしたちの目的

SDGsについて調べ、英語を使って問題点と対策を考える

進め方

- ① 班ごとにSDGsの項目を選ぶ
- ② 問題点を調べる（インターネット・本）
- ③ 特性要因図（フィッシュボーン）を使って問題点を分析する
- ④ 解決策を考える
- ⑤ 関連する英語を調べて発表に取り入れる
（ChromebookやALTの先生に聞いて調べた）



(2) 6つの班が選んだSDGs

それぞれの班で、SDGsの項目を1つ選び、調べて発表しました

1・2・5班



3班



4班



6班



(3) 英語について

英語の学習方法

- ・ ALTとの学習が月に2回程度であるため、児童が英語に触れ、実際に英語を使ってコミュニケーションをする機会をどのように確保するかが課題となった。
- ・ 児童が「知りたい」「伝えたい」と思った英語を、日常的に、Chromebookを使って調べる活動を取り入れている。
- ・ ALTが来校した際には、自分が調べた英語の発音や表現が合っているかを実際に確認したり、英語でやり取りをしたりしている。



(4) 1・2・5班の発表：SDG s 14

14 海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守ろう
Life Below Water



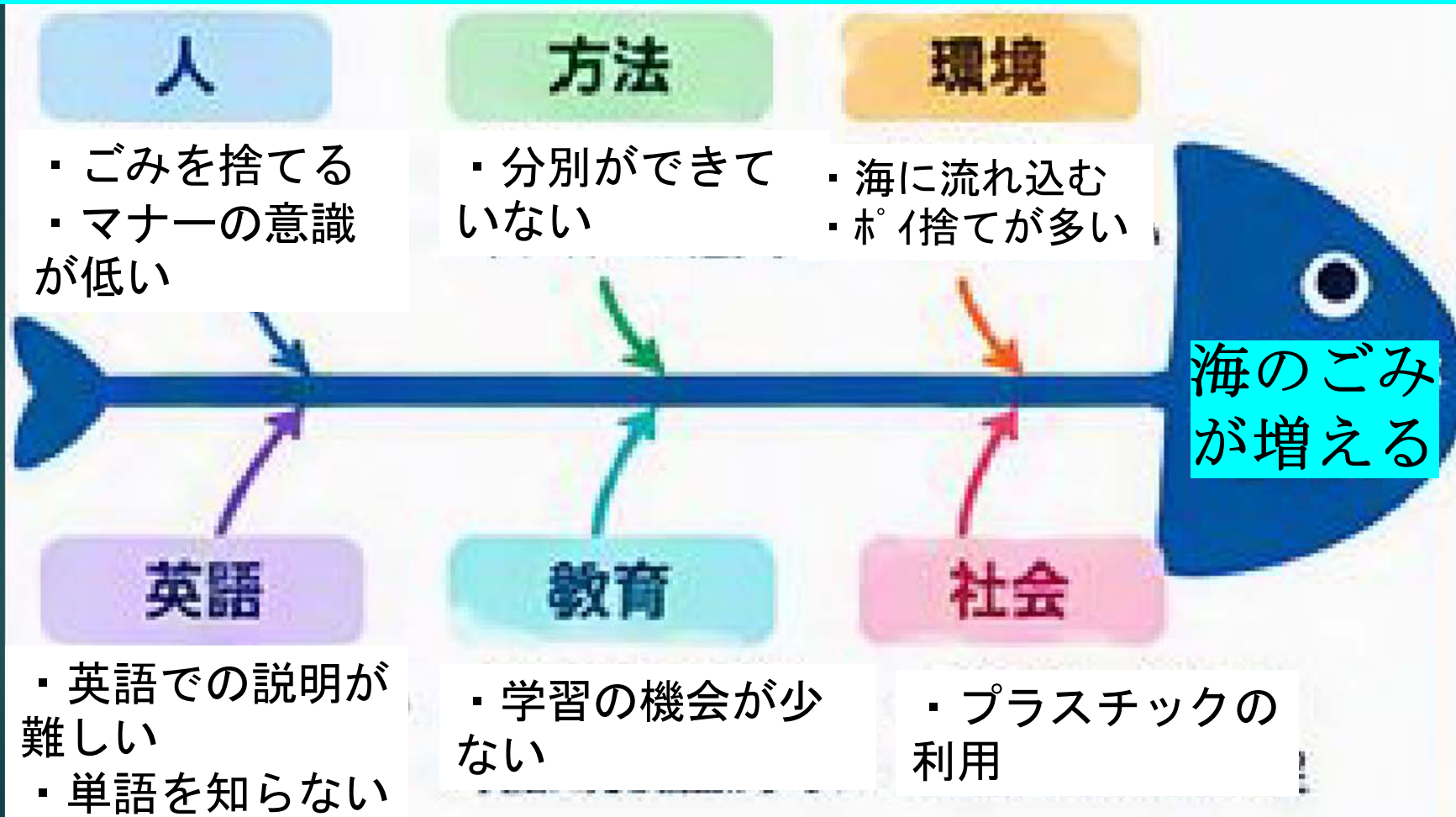
こんな海にしたい！

- ・ ゴミのないきれいな海
- ・ 海の中の生き物が病気にならない海
- ・ 苦しむ魚を減らしたい

(5) 1・2・5班 特性要因図

海のごみが増えること

問題の原因を「人・方法・教材・環境」などの視点から整理して考える図です。



(6) 1・2・5班 解決策・英語

わたしたちの対策

- ・ごみを減らし、分別やリサイクルを行う
- ・プラスチックをできるだけ使わない
- ・海につながる筑後川の河川敷にごみを流さない
- ・ごみのポイ捨てをしない
- ・みんなに海の大切さを伝える

関連する英語

- ・ ocean (海)
- ・ plastic waste (プラスチックごみ)
- ・ clean (きれいな)
- ・ protect (守る)
- ・ marine life (海の生き物)
- ・ Let's keep our ocean clean! (海をきれいに保つ)



(7) 3 班の発表 : SDG s 16

16 平和と公正を
すべての人に



争いや差別がなくならないこと

Peace, Justice and
Strong Institutions

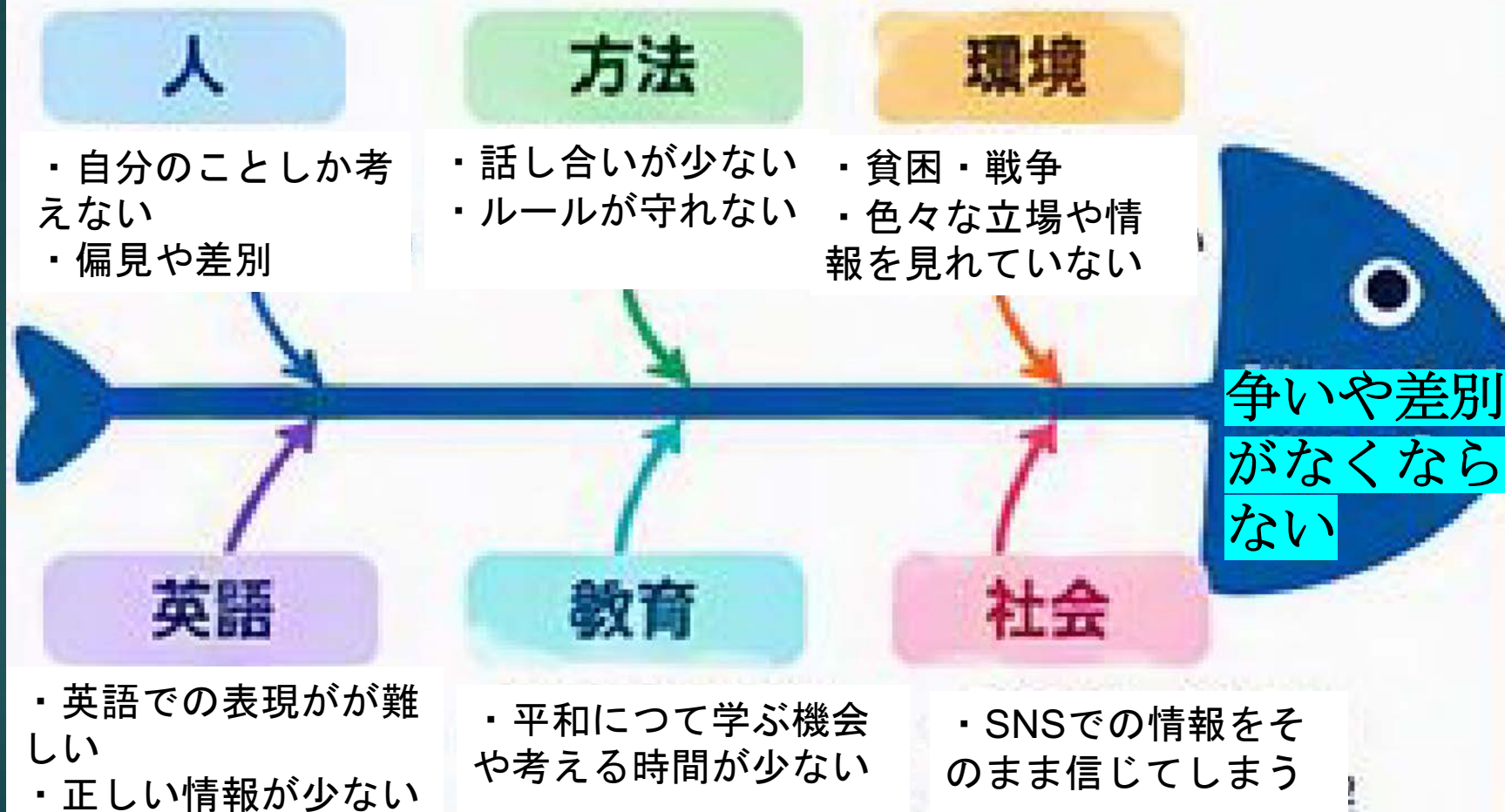


こんな社会にしたい!

- ・ 戦争のない平和な世界
- ・ だれもが安心して暮らせる世界
- ・ ルールを守り、公正な判断がされる社会

(8) 3班 特性要因図

争いや差別がなくならないこと



(9) 3班 解決策・英語

わたしたちの対策

- ・ ちがいを認め合い、話し合いを大切にする
- ・ いじめや差別をなくすために行動する
- ・ 正しい情報を見極め、広める
- ・ みんなでルールを守る

関連する英語

- ・ peace (平和)
- ・ justice (正義)
- ・ respect (尊敬する)
- ・ equality (平等)
- ・ understand (理解する)
- ・ Let's build a peaceful world together!
(一緒に平和な世界をつくしましょう！)



(10) まとめ・これからの行動

わたしたちにできること

- ・ SDGsについて学び、問題点や対策を考えることができた。
- ・ 英語を使って発表することで、伝える力がついた。
- ・ 特性要因図で原因を整理し、深く考えることができた。
- ・ これからも、身近なところから行動していきたい。

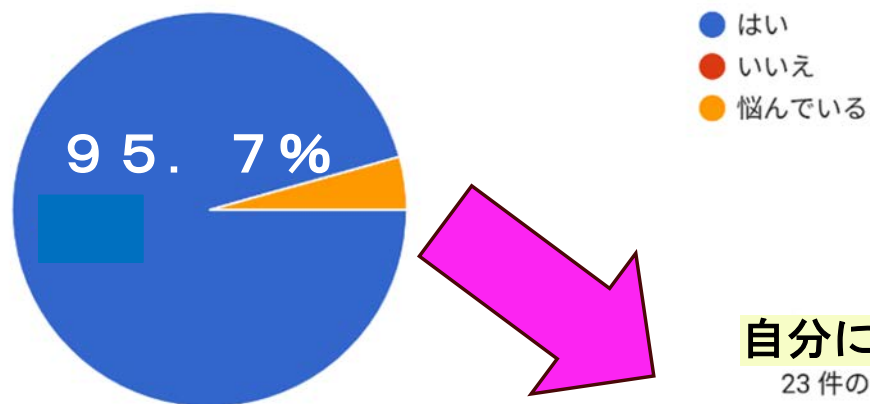


今できることから、未来のために行動しよう！

班で調べ活動をして、ポイントになる言葉・みんなでできること・自分にできることを考え英語に直した。その後発表をした後にアンケートを取った結果である。

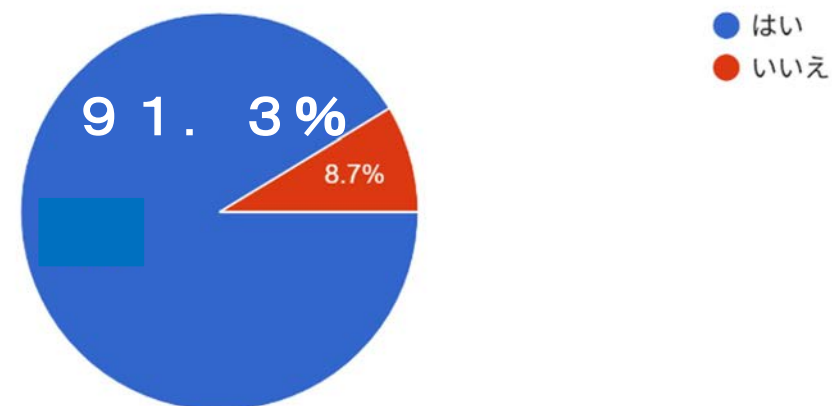
自分にできることを**日本語**で考えることができましたか？

23 件の回答



自分にできることを**英語**で考えることができましたか？

23 件の回答

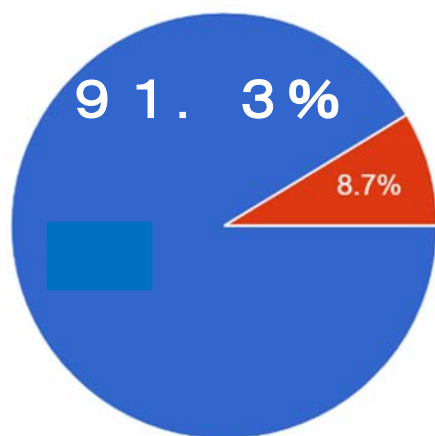


このグラフからもわかるように、9割以上の子どもたちが、日本語と同じように使ってみたいという意欲を持つことができていると考える。

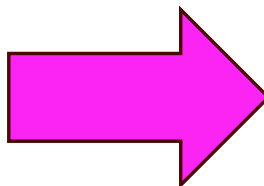
班で調べ活動をして、ポイントになる言葉・みんなでできること・自分にできることを考え英語に直した。その後発表をした後にアンケートを取った結果である。

自分にできることを英語で考えることができましたか？

23 件の回答



● はい
● いいえ



「はい」と答えた人は、どのようにして英語を準備しましたか？

- ・インターネットを使って調べている。
- ・翻訳で調べたり、先生に質問をしたりしている。
- ・ALTの先生が授業に入られるときは、調べたものを確認してもらっている。

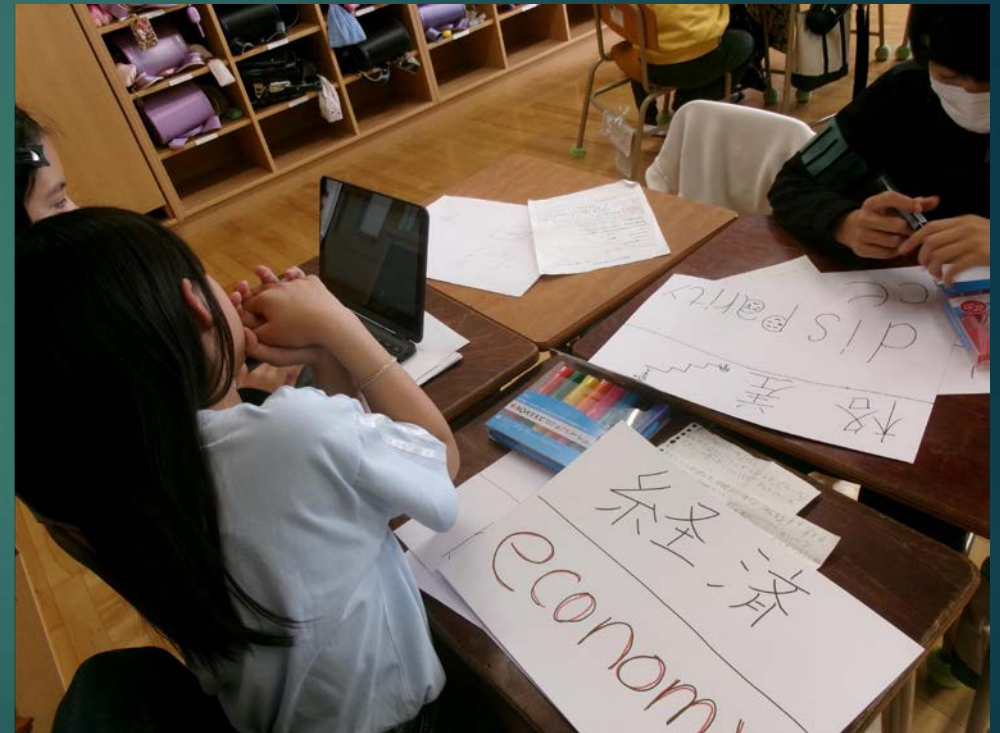


ALT's Viewpoint on CLIL Practice

Student engagement and Translanguaging:

Even though my visits are limited, every time I step into a CLIL class, I noticed how engaged the students are.

Because they are allowed to use both Japanese and English, students aren't afraid to express their ideas.



Collaboration with the Japanese Teachers



Even with limited contact time each week, working together on a subject matter rather than just vocabulary drills makes our lesson more dynamic.



Thank you